

《高齢者福祉》 地域見守りシステム「さかた見守りくん」の実証実験

目 的 ・ 概 要

- 酒田市は「認知症高齢者あんしんネットワーク事業」の一環として、認知症高齢者等の見守りシステムの実証実験を実施した。実証実験により、システムの動作確認、信頼性の検証を行うとともに、認知症の人及びその家族への支援ツールとしての有効性、上記事業を補完する有効なツールであることを検証する。
- システムは、認知症高齢者等が携行する Bluetooth 端末（BLE センサー）の情報を受信することでデータを蓄積し、移動ルートの確認ができる他、指定エリア外に出た際には家族等にメールで通知される。
- システムはキャプテン山形㈱と鶴岡工業高等専門学校が共同開発。通信手段の確保に関する助言及び受信装置の設置についてはNTT東日本㈱山形支店の協力により実施した。

実施主体：酒田市、酒田市社会福祉協議会（市内八幡地域の計 12 組のモニターが協力）

実施期間：平成 27 年 6 月 4 日～7 月 31 日

検 証 結 果

- システム動作検証の結果は良好だった。（雨の日、車移動では探知されない）
- 家族・介護者からは、介護ストレスが軽減された、メールで通知が来ることで迎えに行く際周囲に気兼ねする必要がなくなった、機器の取り扱いも簡単で認知症の人でも抵抗なく携行できた等の感想が得られた。
- IoT ゲートウェイ設置協力者の負担感も少なく、認知症高齢者等の外出回数、行動範囲も拡大した。

利 用 イ メ ー ジ

